

IV 特別調査結果の概要（事業所規模1～4人）

1 概況

平成29年7月に調査した常用労働者数1～4人の事業所の給与、労働時間及び雇用の概況は、次のとおりである。

(1) 一人平均定期給与額（7月分）は171,679円で、前年より3,840円減となった。

また、特別給与（平成28年8月1日～平成29年7月31日）は185,207円で、前年より49,290円減となった。

(2) 一日の実労働時間は7.2時間で、前年より0.1時間増となった。

また、一人平均出勤日数（7月分）は21.9日で、前年より0.8日増となった。

(3) 常用労働者数（7月分）は18,939人で、前年より3,786人減となった。

表IV-1 平成29年毎月勤労統計調査特別調査結果の概要（事業所規模1～4人）

区 分	青 森 県		全 国		水 準 (全国=100)
	実 数	前年差	実 数	前年差	
1 給 与					
定期給与	171,679 円	△ 3,840 円	196,363 円	662 円	87.4
特別給与	185,207 円	△ 49,290 円	227,457 円	251 円	81.4
2 労働時間数及び出勤日数					
一日の労働時間数	7.2 時間	0.1 時間	7.0 時間	0.0 時間	
出勤日数	21.9 日	0.8 日	20.1 日	△ 0.1 日	
3 雇 用					
労働者数	18,939 人	△ 3,786 人	1,869 千人	△ 45 千人	

注) ① この特別調査では、指数を基にした前年比を算出していないため、前年差を記載している。

② 特別給与は、平成28年8月1日から平成29年7月31日までの1年間に特別に支払われた給与であり、単純に定期給与（平成29年7月分）と合わせて現金給与総額とはならない。

2 給 与

(1) 定期給与

定期給与額は、調査産業計では 171,679 円で、前年より 3,840 円減（全国は 196,363 円、前年より 662 円増）となった。全国平均を 100 とした場合、全国対比は 87.4 となった。

産業別にみると、サービス業（他に分類されないもの）が 212,173 円（全国対比 101.7）と最も高かったほか、次いで建設業が 206,050 円（全国対比 79.6）と高かった。

また、宿泊業、飲食サービス業が 98,072 円（全国対比 84.7）と最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が 136,865 円（全国対比 92.9）と低かった。

(2) 特別給与

特別給与額は、調査産業計では 185,207 円で、前年より 49,290 円減（全国は 227,457 円、前年より 251 円増）、全国対比は 81.4 となった。

産業別にみると、学術研究、専門・技術サービス業が 405,917 円（全国対比 106.9）と最も高かったほか、次いでサービス業（他に分類されないもの）が 312,225 円（全国対比 100.1）と高かった。

また、宿泊業、飲食サービス業が 25,960 円（全国対比 75.4）と最も低かったほか、次いで製造業が 107,724 円（全国対比 50.7）と低かった。

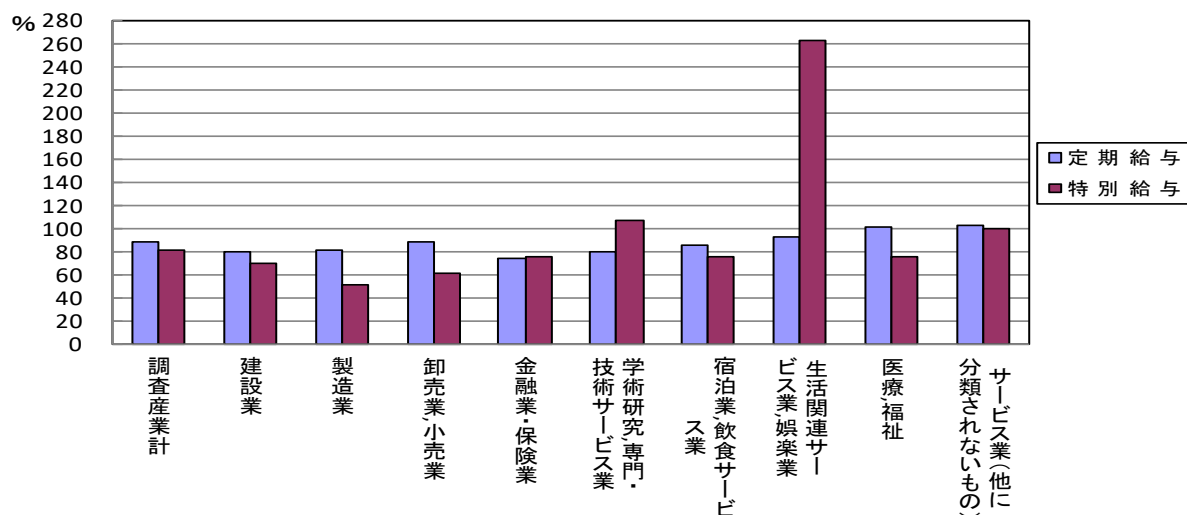
表IV-2 給与額の推移(事業所規模1~4人、調査産業計)

年	定期給与		特別給与		賃金水準(全国=100)	
	青森県	全 国	青森県	全 国	定期給与	特別給与
	円	円	円	円		
平成21年	172,899	185,402	183,518	195,387	93.3	93.9
平成22年	166,920	184,676	160,560	184,694	90.4	86.9
平成23年	170,613	187,962	176,354	191,014	90.8	92.3
平成24年	178,687	188,928	190,517	191,400	94.6	99.5
平成25年	172,562	190,474	164,191	201,806	90.6	81.4
平成26年	173,919	192,120	174,886	208,488	90.5	83.9
平成27年	178,579	191,269	194,372	216,965	93.4	89.6
平成28年	175,519	195,701	234,497	227,206	89.7	103.2
平成29年	171,679	196,363	185,207	227,457	87.4	81.4

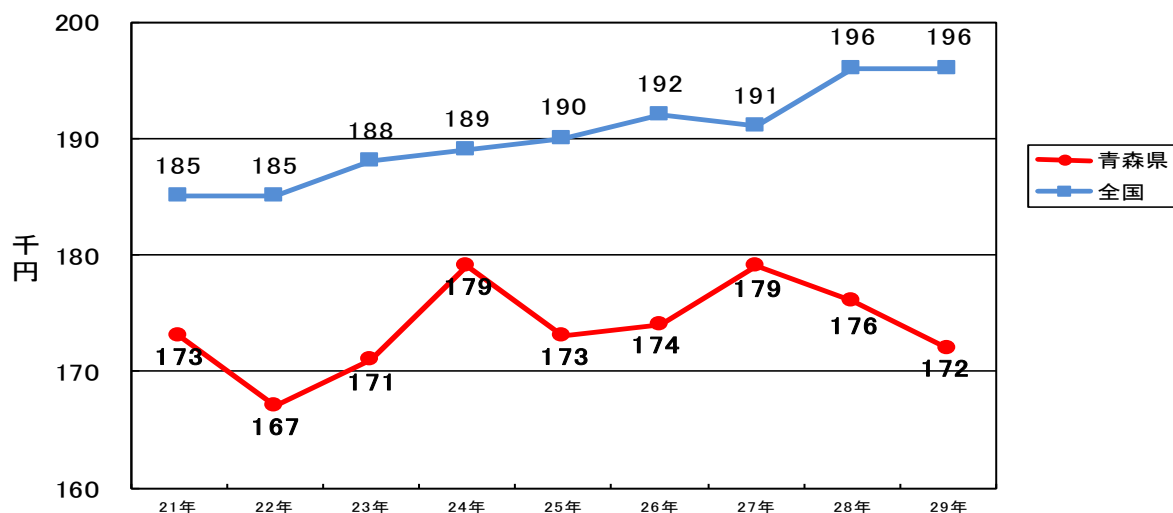
表IV-3 産業別給与の比較(事業所規模1～4人)

区 分	定期給与		全国 =100	特別給与		全国 =100
	青森県	全 国		青森県	全 国	
	円	円		円	円	
調査産業計	171,679	196,363	87.4	185,207	227,457	81.4
建設業	206,050	258,859	79.6	174,148	249,501	69.8
製造業	174,507	215,511	81.0	107,724	212,480	50.7
卸売業, 小売業	173,768	198,090	87.7	143,491	237,838	60.3
金融業・保険業	186,311	251,048	74.2	272,006	360,607	75.4
学術研究, 専門・ 技術サービス業	185,635	231,938	80.0	405,917	379,741	106.9
宿泊業, 飲食サービス業	98,072	115,765	84.7	25,960	34,427	75.4
生活関連サービス業, 娯楽業	136,865	147,366	92.9	124,795	47,420	263.2
医療, 福祉	180,237	179,043	100.7	181,295	242,181	74.9
サービス業(他に 分類されないもの)	212,173	208,538	101.7	312,225	311,779	100.1

図IV-1 産業別給与の全国対比(全国=100、事業所規模1～4人)



図IV-2 定期給与額の推移(調査産業計) 事業所規模1～4人



(3) 男女別給与

定期給与額は、調査産業計では、男性は218,106円で、前年(226,052円)より7,946円減となり、女性は131,898円で、前年(132,614円)より716円減となった。男性比は60.5で、前年(58.7)から1.8ポイント増となった(全国は男性比54.4で前年(53.2)から1.2ポイント増)。

産業別にみると、男性は、サービス業(他に分類されないもの)が253,846円で最も高かったほか、次いで金融業、保険業が253,489円と高かった。女性は、医療、福祉が171,810円(男性比78.9、全国男性比67.8)と最も高かったほか、次いで学術研究、専門・技術サービス業が159,674円(男性比70.4、全国男性比61.3)と高かった。

また、男性は、宿泊業、飲食サービス業が145,065円で最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が174,022円と低く、女性は、宿泊業、飲食サービス業が87,247円(男性比60.1、全国男性比46.9)で最も低かったほか、次いで製造業が93,926円(男性比44.7、全国男性比51.7)と低かった。

男性比が最も大きい産業は、医療、福祉が78.9(全国67.8)で、次いで生活関連サービス業、娯楽業が71.1(全国61.9)となった。男性比が最も小さい産業は、製造業が44.7(全国51.7)で、次いでサービス業(他に分類されないもの)が49.9(全国59.4)となった。

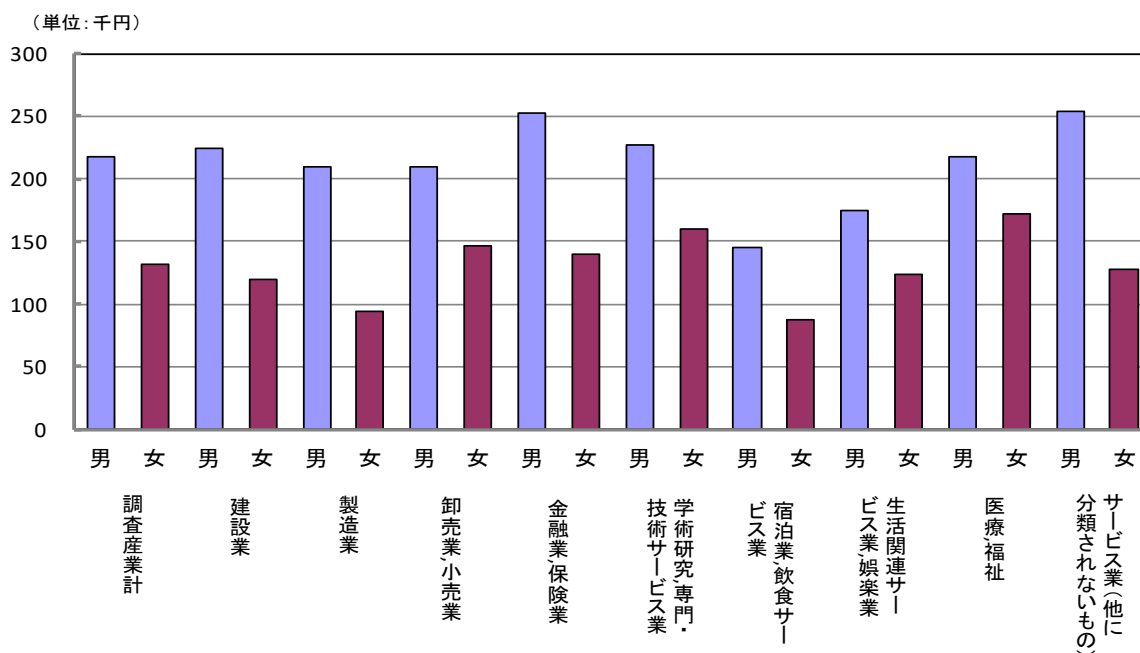
表IV-4 産業別・男女別給与(事業所規模1~4人:青森県)

区 分	定期給与		女性の水準 (男=100)	特別給与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女	
	円	円		円	円	
調査産業計	218,106	131,898	60.5	260,042	121,291	46.6
建設業	223,814	120,262	53.7	197,871	46,804	23.7
製造業	210,050	93,926	44.7	151,436	14,571	9.6
卸売業,小売業	210,057	147,039	70.0	169,956	124,277	73.1
金融業,保険業	253,489	140,032	55.2	367,001	179,664	49.0
学術研究,専門・技術サービス業	226,760	159,674	70.4	502,905	344,691	68.5
宿泊業,飲食サービス業	145,065	87,247	60.1	15,480	27,653	178.6
生活関連サービス業,娯楽業	174,022	123,799	71.1	269,294	80,464	29.9
医療,福祉	217,848	171,810	78.9	126,494	194,715	153.9
サービス業(他に分類されないもの)	253,846	126,616	49.9	368,359	199,154	54.1

表IV-5 産業別・男女別給与(事業所規模1~4人:全国)

区 分	定期給与		女性の水準 (男=100)	特別給与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女	
	円	円		円	円	
調査産業計	264,286	143,770	54.4	326,999	148,585	45.4
建設業	290,551	149,342	51.4	284,597	128,045	45.0
製造業	268,179	138,606	51.7	293,727	94,465	32.2
卸売業,小売業	267,078	145,229	54.4	370,364	133,296	36.0
金融業,保険業	318,719	194,309	61.0	550,216	201,943	36.7
学術研究,専門・技術サービス業	303,030	185,800	61.3	472,768	317,819	67.2
宿泊業,飲食サービス業	184,052	86,295	46.9	57,806	24,616	42.6
生活関連サービス業,娯楽業	210,394	130,251	61.9	90,476	35,829	39.6
医療,福祉	245,992	166,854	67.8	273,251	236,770	86.6
サービス業(他に分類されないもの)	252,725	150,010	59.4	356,849	251,851	70.6

図IV-3 産業別・男女別定期給与額の比較（事業所規模1～4人：青森県）



3 労働時間と出勤日数

(1) 労働時間

一日の実労働時間数は、調査産業計では7.2時間、前年より0.1時間増となった（全国は7.0時間で前年と変わらず）。

産業別では、サービス業（他に分類されないもの）が7.5時間（全国7.1時間）と最も長かったほか、次いで建設業、卸売業、小売業が7.4時間（それぞれ全国7.5時間、7.2時間）と長かった。

また、宿泊業、飲食サービス業が5.9時間（全国6.0時間）と最も短かったほか、学術研究、専門・技術サービス業が7.0時間（全国7.3時間）と短かった。

(2) 出勤日数

出勤日数は、調査産業計では21.9日、前年より0.8日増となり、全国の20.1日より1.8日多かった。

産業別にみると、卸売業、小売業が22.9日（全国20.8日）と最も多かったほか、次いで医療、福祉が22.8日（全国19.7日）と多かった。

また、金融業、保険業が21.0日（全国20.2日）と最も少なかったほか、宿泊業、飲食サービス業が21.1日（全国18.3日）と少なかった。

表IV-6 実労働時間数及び出勤日数の推移(事業所規模1～4人、調査産業計)

年	実労働時間数			出勤日数		
	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
	時間	時間	時間	日	日	日
平成21年	7.3	7.1	0.2	22.7	20.8	1.9
平成22年	7.2	7.1	0.1	22.2	20.7	1.5
平成23年	7.1	7.1	0.0	21.5	20.6	0.9
平成24年	7.3	7.1	0.2	21.8	20.6	1.2
平成25年	7.2	7.1	0.1	22.1	20.7	1.4
平成26年	7.1	7.1	0.0	21.9	20.7	1.2
平成27年	7.2	7.0	0.2	21.8	20.4	1.4
平成28年	7.1	7.0	0.1	21.1	20.2	0.9
平成29年	7.2	7.0	0.2	21.9	20.1	1.8

表IV-7 産業別実労働時間数及び出勤日数の全国対比(事業所規模1～4人)

区 分	実労働時間数			出勤日数		
	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
	時間	時間	時間	日	日	日
調 査 産 業 計	7.2	7.0	0.2	21.9	20.1	1.8
建 設 業	7.4	7.5	△ 0.1	21.7	21.7	0.0
製 造 業	7.2	7.2	0.0	21.8	20.7	1.1
卸 売 業 , 小 売 業	7.4	7.2	0.2	22.9	20.8	2.1
金 融 業 , 保 険 業	7.2	7.2	0.0	21.0	20.2	0.8
学術研究,専門・技術サービス業	7.0	7.3	△ 0.3	21.5	19.8	1.7
宿泊業,飲食サービス業	5.9	6.0	△ 0.1	21.1	18.3	2.8
生活関連サービス業,娯楽業	7.2	7.0	0.2	21.5	20.0	1.5
医 療 , 福 祉	7.2	6.7	0.5	22.8	19.7	3.1
サービス業(他に分類されないもの)	7.5	7.1	0.4	21.8	20.7	1.1

4 常用労働者の動き

常用労働者数は、調査産業計では 18,939 人（男 8,740 人、女 10,200 人）で、前年（22,725 人）より 3,786 人減となった。

産業別では、卸売業,小売業が 5,095 人（全産業に占める割合 26.9%、全国 26.4%）と最も多かったほか、次いで建設業が 2,737 人（同 14.5%、全国 11.2%）と多かった。

また、金融業,保険業が 452 人（同 2.4%、全国 1.3%）と最も少なかったほか、次いで学術研究,専門・技術サービス業が 801 人（同 4.2%、全国 6.3%）と少なかった。

男女別構成比をみると、男性の占める割合が最も高い産業は、建設業が 82.8%（全国 77.5%）で、次いで製造業が 69.4%（全国 59.7%）と高かった。

また、女性の占める割合が最も高い産業は、医療,福祉が 81.7%（全国 84.7%）で、次いで宿泊業,飲食サービス業が 81.3%（全国 70.0%）と高かった。

表IV-8 常用労働者数の推移(事業所規模1～4人:青森県)

区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
常用労働者数(人)	23,571	26,285	26,663	19,404	23,013	24,267	23,775	23,402	22,725	18,939
対前年増減数(人)	△ 1,708	2,714	378	△ 7,259	3,609	1,254	△ 492	△ 373	△ 677	△ 3,786
対前年増減率(%)	△ 6.8	11.5	1.4	△ 27.2	18.6	5.4	△ 2.0	△ 1.6	△ 2.9	△ 16.7

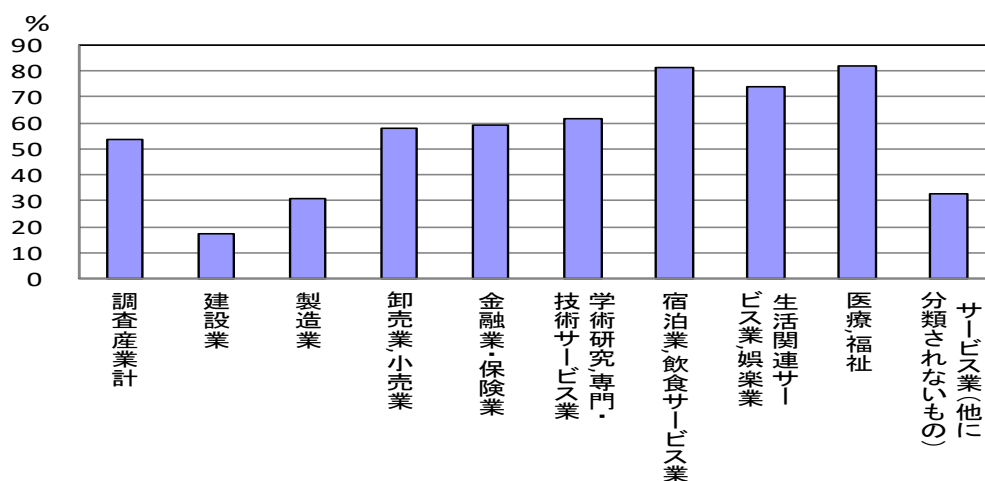
表IV-9 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模1～4人:青森県)

区分	常用労働者数(人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	18,939	8,740	10,200	100.0	100.0	100.0	46.1	53.9
建設業	2,737	2,267	469	14.5	25.9	4.6	82.8	17.1
製造業	936	650	287	4.9	7.4	2.8	69.4	30.7
卸売業,小売業	5,095	2,161	2,934	26.9	24.7	28.8	42.4	57.6
金融業,保険業	452	184	268	2.4	2.1	2.6	40.7	59.3
学術研究,専門・技術サービス業	801	310	491	4.2	3.5	4.8	38.7	61.3
宿泊業,飲食サービス業	2,003	375	1,628	10.6	4.3	16.0	18.7	81.3
生活関連サービス業,娯楽業	2,264	589	1,675	12.0	6.7	16.4	26.0	74.0
医療,福祉	1,752	321	1,432	9.3	3.7	14.0	18.3	81.7
サービス業(他に分類されないもの)	1,244	836	407	6.6	9.6	4.0	67.2	32.7

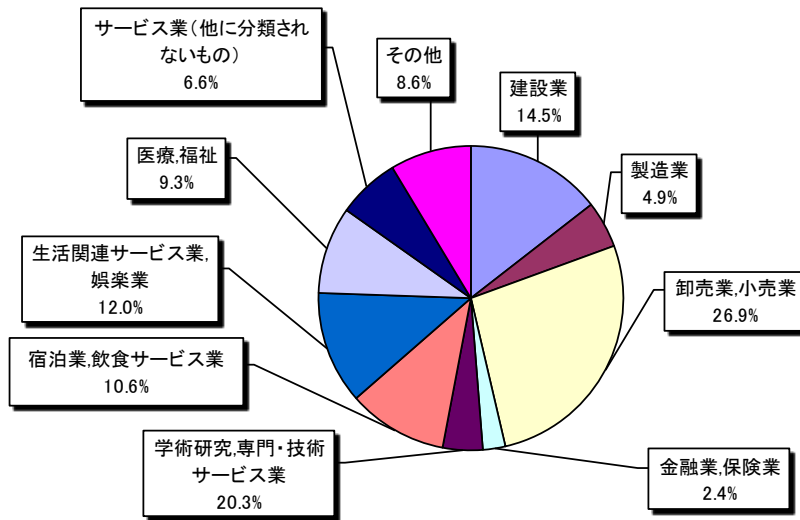
表IV-10 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模1～4人:全国)

区分	常用労働者数(千人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	1,869	816	1,054	100.0	100.0	100.0	43.7	56.4
建設業	209	162	47	11.2	19.9	4.5	77.5	22.5
製造業	149	89	61	8.0	10.9	5.8	59.7	40.9
卸売業,小売業	493	214	279	26.4	26.2	26.5	43.4	56.6
金融業,保険業	24	11	13	1.3	1.3	1.2	45.8	54.2
学術研究,専門・技術サービス業	117	46	71	6.3	5.6	6.7	39.3	60.7
宿泊業,飲食サービス業	180	54	126	9.6	6.6	12.0	30.0	70.0
生活関連サービス業,娯楽業	173	37	136	9.3	4.5	12.9	21.4	78.6
医療,福祉	183	28	155	9.8	3.4	14.7	15.3	84.7
サービス業(他に分類されないもの)	123	70	53	6.6	8.6	5.0	56.9	43.1

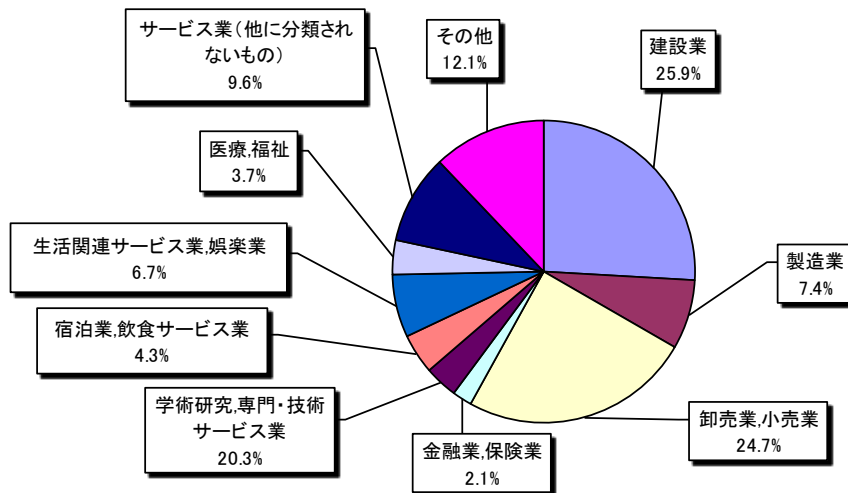
図IV-4 常用労働者の産業別女性の割合(事業所規模1～4人:青森県)



図IV-5 常用労働者の産業別構成比（総数）（事業所規模 1～4 人：青森県）



図IV-6 常用労働者の産業別構成比（男）（事業所規模 1～4 人：青森県）



図IV-7 常用労働者の産業別構成比（女）（事業所規模 1～4 人：青森県）

